

平成 27 年度 坂小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

7 月 7 日(火)に開催された「坂小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)

【当日参加団体一覧】

ご参加ありがとうございました。



団体名		
笹原自治会	錦田地区地域包括支援センター	坂小学校支援地域本部
山中町内会	保護司会	錦田中学校
三ツ谷自治会	坂幼稚園	錦田中学校 PTA
市山新田自治会	坂幼稚園 PTA	体育振興会
元山中自治会	坂小学校	消防団第 14 分団
民生委員・児童委員	坂小学校 PTA	消防団第 13 分団

※当日参加者 31 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 坂小学校支援地域本部：昨年度より子ども達と一緒に野菜作り(世話から販売まで)を行っている。
- 坂 小 学 校：夏休みに体育館の LED 化と屋根の工事を実施。9 月からは屋上に太陽光発電と蓄電池の設置工事を開始(1 月終了予定)。避難所の強化が図られる。
- 体 育 振 興 会：7/4(土)ソフトバレーボール大会、12 チームが参加し、盛大に実施された。8/1(土)盆踊り大会、7/25(土)6:30～踊り練習への参加もお願いしたい。
- 地域包括支援センター：地域の方の交流の場・体操教室を各地で開催。玉沢地区では 9 月から第 2 & 第 4 金曜日 10:00～「玉澗園」にて開始。笹原地区は毎月 15 日に実施中。

<会場アンケート>
話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 地域の特性を踏まえた防災の取り組みを実践しよう！	17 人
② 子どもが参加してみたいくなるような地域の活動を考えよう！	6 人
③ 親世代に向けた坂地区の魅力発信と魅力づくりに取り組もう！	7 人
④ その他	0 人

※アンケートの結果、テーマ①と③に分かれ話し合いました。

(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「地域の特性を踏まえた防災の取り組みを実践しよう！」

「各家庭での取り組み」と、「自治会・地域全体での取り組み」について話し合いが進みました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
備蓄品の用意	各家庭の備蓄品	<ul style="list-style-type: none"> ●各家庭で備蓄品をどれくらい用意しているのか、役員として知らない。 ●備蓄の有無、不公平になってはいけない。 ・各家庭に防災意識がどれくらい浸透しているのか不明。差があると困る。 ●各家庭から集めた防災費と自治会費で、食糧と水を含む防災グッズを110戸分用意した。(三ツ谷) ・農家が多いので野菜は有る。災害時、お互い助け合うことができる地区なので、食糧の心配はほとんどなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ●備蓄品チェック。家庭のチェックシートを活用する。 ●備蓄品を把握した上で、個人の備蓄と自治会の備蓄の調整が必要。 ●特別防災費をとる。1週間の備蓄をしっかりと全員がするために必要。 ●備蓄品の中には、薬の説明文も入れておくと良い(高齢者対策)。
	自治会の備蓄品	<ul style="list-style-type: none"> ●坂小学校は遠いので、地区の公民館に準備してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会で備品の用意をしておく。 ●簡易トイレの常備。 ・生理用品、おしめ、トイレ等の用意が必要。
各家庭の取り組み	家族間の安全確認		<ul style="list-style-type: none"> ●家族の連絡方法。メールを活用する。 ●災害用伝言ダイヤル「171」(NTT)の使用方法的周知徹底をしておきたい。 ●家族内の避難場所を決める。 ●自分が何をすべきか確認・ ●家族の間で、災害時の対応について話しておく。
	家の中の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時は何をしたらいいのかわからなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常、目につきやすい場所にしなければならない行動を3点ぐらい書いて貼っておく。 ●家の中の整理整頓。防災用品を1カ所にまとめる。 ・家の中に何があるか確認する。
	耐震化	<ul style="list-style-type: none"> ●古い家が多い。 ●耐震化には費用がかかる。高齢者にとっては負担が大きく、難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●家の耐震化を進める。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
自治会・地域全体の取り組み	防災訓練 新しい試み	・マンネリ化と言われている。	●黄色いハンカチを利用したい。 ●今年度はスモークハウス訓練を取り上げてみた（三ツ谷）
	高齢者 への対応	・年寄りが多く、孤立するので心配。 ・70歳以上の高齢者は把握済み。名簿も作成。情報把握はできている。	●近所で意識し合う。 ●坂地区は高齢化の高い地域なので、高齢者の避難方法や避難所での対応を検討しておく。
	地域外の人 への対応	・大吊橋の完成などにより、観光客が今後増加する。地域外の人への対応や配慮が必要になってくる。	

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇備蓄品チェックシートを利用するなどして、各家庭で不足がないように備蓄品の確認と用意に地域全体で取り組もう！
- ◇災害時の家族間の連絡方法や避難場所の確認、家の防災用品の整理整頓など、日頃より家族間で災害時の対応について話し合っておこう！
- ◇高齢者の多い地区であり、また将来的には地域外の人(観光客)が増えることも予想される。これら方々の避難方法や避難所での対応を検討しよう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！

テーマ③	「坂地区の魅力発信と魅力づくりに取り組もう！」
------	-------------------------

坂地区の「魅力」と「デメリット」を整理しながら、校区内の住人のうち特に若い母親に向けた魅力づくりについて話し合われました。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
坂地区の 魅力の再認識		●地元に住んでいても、地元の魅力を分か っていない人もいる。	
坂地区の 魅力とは？	犯罪が 少ない	●地域が一体化しているから、犯罪を起こ す者が少ない。(保護司)	
	家族の つながり 強い	●祖父母との同居家族が多い。 ●家族間のつながりが強い。 ・一人暮らしの老人が少ない。 ・各家族の状況を互いに把握している。	
	不登校の 解消	<小学校の良いところ> ①人数少ない、②不登校0、③農業体験、 ④スキー体験、⑤英語の活動、⑥働き者 ・坂地区外から16人が登校している(県外 からの転校希望もある)。他校では不登校 だった子が立ち直り、楽しく学校に通っ ている。	●坂に来て人間関係が取れるようにな った子が何人もいる。 ●坂は他校で不登校や困っている子 にとって、温かく見守ってくれる。
	みんなで 子育て	●児童クラブは地域の方々に運営。朝7:30 ～18:00、幼稚園児～小6年生まで。 ・地域の方が幼稚園を温かく見守っている。 ●幼稚園の園児数は17人(9世帯)。地域や 家族に見守られ、育児ができる。母親は 一人で頑張らなくて良い。 ・子どもも地域と一緒にまとまって、地域 の行事を行っている。 ・地域内の各組織を網羅している「坂地区 懇話会」がある。懇話会が大きな役割を 果たしている。 ・保護者同士の話し合いがしやすい。	・来年度から公立幼稚園でも預かり保 育が進んでいく。母親の仕事と育児 の両立を手助けできるようになる。
	産物・景観 すばらしい	●自然環境が良い。 ●箱根西麓野菜がブランド化されている。 ・野菜がおいしい ●大きな施設(橋)ができる。	
なぜ人が転出し ていくのか？		・なぜ、坂地区から転出ていくのか？ ●魅力は魅力でもあるが、欠点でもある。 (例：強いきずな)	・良いところを伸ばし、悪いところは 解消する。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
坂地区のデメリットとは？	強すぎる きずな	<ul style="list-style-type: none"> ●きずなが強いことは欠点でもある。わずらわしいと思う人もいる。 ・付き合いが多い。行事や会合が大変。 ・過干渉。 ●子どもが幼稚園に入ってから、地域の方々とのつながりができた。入園するまでは誰が誰か分からなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強いきずなの中にどうやって入るか悩んだが、入ってしまえば大丈夫。 ●サポートがとても大切。サポートしてくれる人がいなければ入れない。 ●幼稚園、PTAでの横のつながりで、若いお母さん同士のコミュニケーションを図ることが大切。
	子ども 少人数	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の難しさもある。集団行動・大人数で培われることが、坂ではできない。 ●坂幼稚園は2年保育のみ。3歳児から通園させたい家庭は、他地区の幼稚園に入れてしまうので、地元で若い母親同士のコミュニティができない。 ・いくら魅力があっても、仕事をしている家庭は他の保育園に入れてしまう。 ・昔は百姓が多かったので、保育園は必要なかった。兄弟も多く、兄弟が面倒みた。 ●坂には3歳児以下の子を持つ母親のコミュニティづくりの場がない。情報交換ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年保育や子ども園にできると良い。坂幼稚園に入る子が増える。 ・幼稚園、小学校が活性化すれば、地域の活性化にも繋がる。 ●母親同士の横のきずなづくり大切。 ●若い保護者自体が育つ、見守られる場が必要。
	不便 仕事がない	<ul style="list-style-type: none"> ●車がないと生活できない ●働く場所が無く、戻ってこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が必要。 ●工業団地と優良田園住宅を計画中。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇未就園児を持つ母親や、他地区の幼稚園に通園させている親は、地域とのつながりが薄い。未就園児の段階から母親同士が繋がれる機会を地域内で作ろう！
- ◇工業団地や優良田園住宅計画による活性化のチャンスの時。「不登校ゼロ」「地域の皆で子育て」「自然環境が良い」など、坂地区の魅力を発信していこう！

今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといいね！



